



Nippon Computer Dynamics Co., Ltd.

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

第58期 中間株主通信

2022 4.1 ▶ 2022 9.30

58th

Vision2023 スローガン

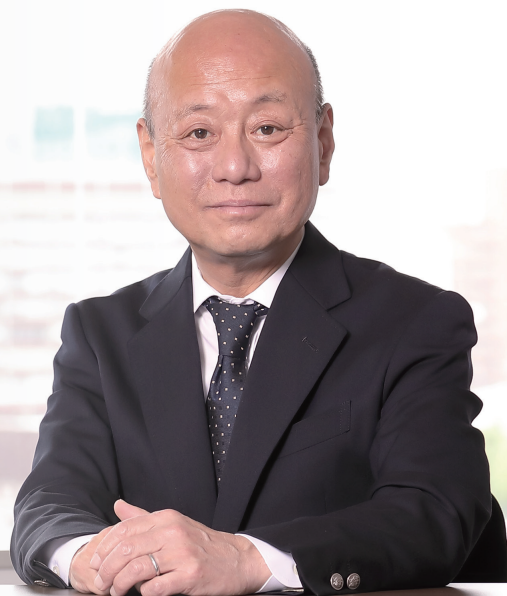
Change & Challenge for Smile

株主の皆様、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第58期中間期(2022年4月1日から9月30日まで)の業績についてご報告いたします。

代表取締役社長

下 條 治



経済の動向

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」という)が再拡大したものの、感染症対策と社会経済活動の両立への意識の高まりもあり、緩やかな持ち直しの動きが見られました。しかしながら、急速な円安の進行、ウクライナ情勢等を背景とした原材料価格の高騰や供給面での制約などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

情報サービス業界の動向

当社グループの属する情報サービス業界におきましては、DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展に伴い、クラウドやセキュリティサービス等の需要が今後も高まっていくことが予想されます。当社グループでは

このようなニーズに対応すべく、人材育成や採用活動を積極的に実施するとともに、DX戦略の推進により業務プロセスやビジネスモデルの変革に取り組み、各領域でのファーストコールカンパニーとなることを目指してまいります。

自転車駐輪場業界の動向

自転車駐輪場業界におきましては、駐輪場利用状況は、行動制限の緩和などにより改善傾向にあります。機器販売については、感染症対策を取り入れた都市再開発計画なども各地で進行しているものの、いまだ回復途上にあります。このような事業環境において、当社グループは外部環境の変化や需要変動に柔軟に対応できる収益基盤の確立のため、事業の構造改革を推進するとともに、IT技術によりコスト削減効果と利便性の高さを実現する

月極駐輪場管理システム「ECOPOOL」の更なる拡販に取り組んでおります。

業績

当第2四半期連結累計期間のIT関連事業(システム開発事業、サポート&サービス事業)においては、新規案件の獲得や既存案件の本格稼働が寄与し、前年同期比で増収となりましたが、新規案件に係る先行コスト等により減益となりました。

一方、パーキングシステム事業におきましては、機器販売は低調に推移したものの、前年同期に比べ駐輪場利用状況が大きく改善したことなどにより、前年同期比で増収増益となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,672百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益513百万円(前年同期比24.9%増)、経常利益523百万円(前年同期比24.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は324百万円(前年同期比20.2%増)となりました。

なお、確定拠出年金制度への移行による損失等59百万円を特別損失に計上しております。

配当

当期中間配当につきましては、業績等を総合的に勘案し、1株当たり7円といたしました。

株主の皆様へのメッセージ

当期は中期経営計画「Vision2023」の最終年度となります。目標達成に向けてNCDグループ一丸となって邁進してまいりますので、引き続きご支援の程よろしくお願いいたします。

Vision 2023

Medium-term
management plan

2023年3月期の財務目標

グループ連結

売上高 **210 億円**

営業利益 **10 億円**

営業利益率 **4.8 %**

ROE **12 %以上**

基本方針

**ストックとフローの連携強化による
更なる付加価値の向上**

バリュー

▶NCDバリューの追求と更なる進化

ドメイン

▶NCDの特色を生かした
事業ドメインの一層の拡大

体制

▶事業体制の強化

▶グループフォーメーションの最適化

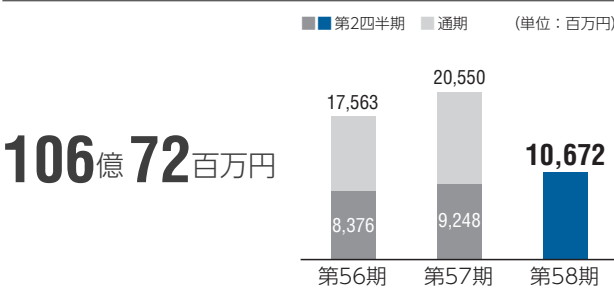
詳細は下記よりご確認ください。

<https://www.ncd.co.jp/ir/management/plan/>

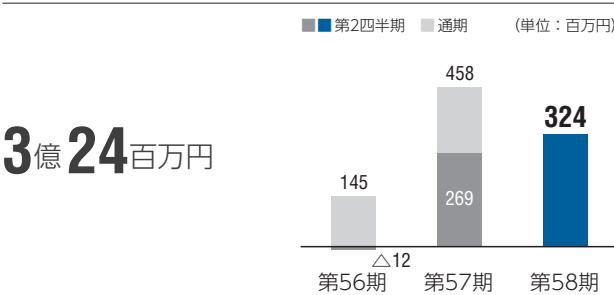


連結業績

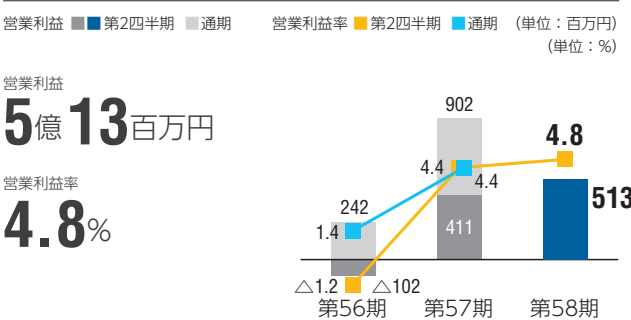
売上高



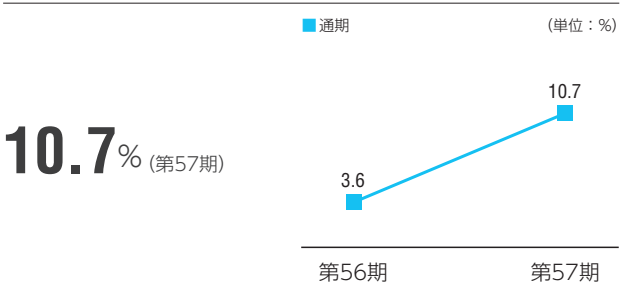
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益
または親会社株主に帰属する四半期純損失(△)



営業利益または営業損失(△)／営業利益率



ROE(自己資本利益率)



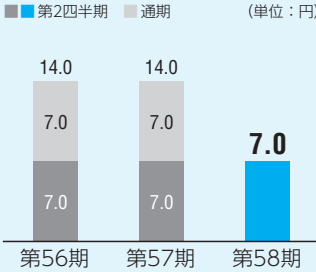
株主還元

企業体質の強化と積極的な事業展開に備えて内部留保に努めるとともに、配当性向や配当利回りなどを総合的に判断し、安定的な配当を維持することを基本方針としてまいりました。今後におきましても本基本方針のもと、適切な利益還元を実施していく所存です。

また、株主の皆様の日頃のご愛顧にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に当社の事業へのご理解とご支援をいただくことと、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、**株主優待制度**も取り入れております。

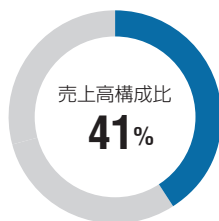
→ 裏表紙 株主優待制度のご案内

配当金の推移



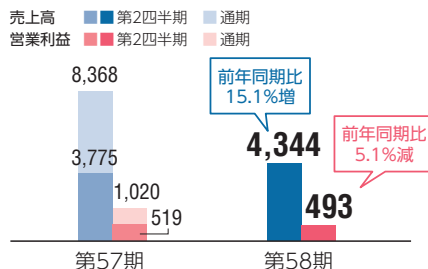
システム開発事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー、NCD China^(*)



売上高／営業利益

(単位：百万円)



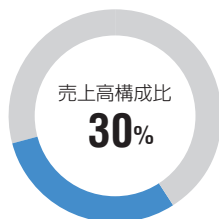
主要なサービス

- ・システム構築ソリューション
- ・パッケージソリューション
- ・アプリケーション保守・運用ソリューション

生損保会社の新商品のシステム開発案件を獲得したことに加え、業務効率化やコスト削減意識の高まりを背景とした会計シェアードサービスやワークフローシステム導入案件の獲得や進行により、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、新規案件の開始に伴い人件費等の先行コストが発生し、前年同期比で減益となりました。

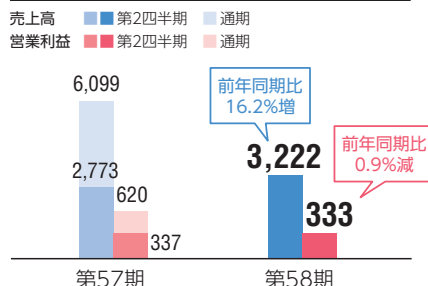
サポート&サービス事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー



売上高／営業利益

(単位：百万円)



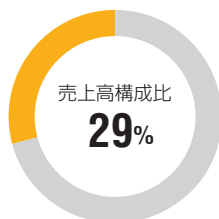
主要なサービス

- ・インフラ構築ソリューション
- ・インフラ保守・運用ソリューション
- ・業務サポートソリューション

大手企業の情報システム部門のアウトソーシング案件において、業務領域が拡大しました。また、生損保会社のクラウド関連等の新規案件を受注したことにより、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、先行コストのかかる案件等により、前年同期比でほぼ横ばいとなりました。

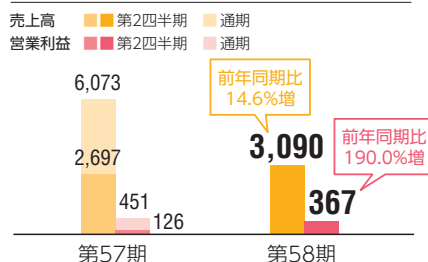
パーキングシステム事業

NCD、NCDプロス、NCDエスト



売上高／営業利益

(単位：百万円)



主要なサービス

- ・駐輪場の設営・運営・管理受託
- ・駐輪場管理システムの販売および運営
- ・自転車関連の総合コンサルティング
- ・自転車関連商品の販売

機器販売については、駐輪場の新規開設等の需要が回復途上であることなどから低調に推移しましたが、鉄道および商業施設利用が改善し、駐輪場利用料収入が増加したことにより、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、委託元の収支改善による駐輪場管理運営に係る収入の増加や、グループ子会社を活用した外部委託業務の内製化に努めたことなどにより、前年同期比で増益となりました。

(*) NCD China は「天津恩馳德德信息系统開発有限公司」の英語表記です。



パーパス

パーパスのキービジュアルを制作

2022年4月に制定したNCDグループのパーパス「人の鼓動、もっと社会へ。」の理解浸透のため、パーパスに込められた想いや世界観をイメージとして共有できるよう、キービジュアルを制作しました。私たちの活き活き・わくわくの鼓動が、NCDグループのユニークな技術とサービスを通してお客様やその先の社会へ広がり、明るい未来につながっていく様子を表現しています。今後も、社員一人ひとりがパーパスを理解し、自分の人生の目的(MYパーパス)との重なりを捉え、行動に結びつけることで、個々の成長と企業の持続的成長を実現できるよう、継続的な浸透施策を展開してまいります。



環境

自動販売機で排出CO2をオフセット(カーボン・オフセット)

本社等に設置している自動販売機について、その売上の一部をカーボン・オフセットの実施費用に充当するサービス「ドリンクdeオフセット」を2022年4月より導入し、導入からの半年間で10トン分の排出CO2のオフセットを実施しています。また、自動販売機の利用者である社員一人ひとりが無理なく自ら参加することができるため、社内の環境に対する意識向上にもつながっています。引き続きマテリアリティに掲げる「カーボンニュートラル実現への貢献」を推進してまいります。



社会

多摩市より感謝状を受領

指定管理者に選定されている多摩市より、駐輪場の管理運営スタッフが日々市民を見守り、あたたかなサービスを提供することが「多くの市民の福祉の向上につながる」として、感謝状を受領しました。NCDグループでは、事業を通して社会貢献をしたという思いから、自治体の「地域見守り活動」に積極的に参加しています。今回の感謝状を更なる励みとし、これからも安全・安心な街づくりの実現に貢献できるよう、取り組んでまいります。



▲多摩センター駅西駐輪場前にて



IT関連事業

OBC Partner Award 2022 を受賞

当社はOBCパートナーの中でも最大規模の奉行シリーズ導入専任チームを持ち、大手企業様やグループ会社様への導入、また、追加開発を伴う大規模な案件にも多く携わっています。今後もお客様のDX(デジタルトランスフォーメーション)のご支援や、様々な課題解決に向けて営業活動や連携ソリューションの強化を図り、更なる事業拡大を目指すとともに、デジタル社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。



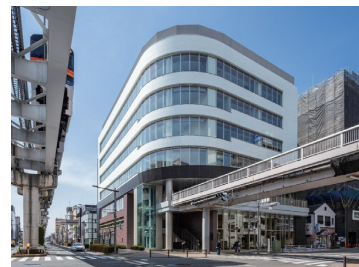
▲左：OBC 代表取締役社長 和田 成史様
右：NCD 代表取締役社長 下條 治



パーキングシステム事業

立川市コトリンク有料自転車等駐車場の管理運営を開始

立川市と多摩地域の魅力を発信し、にぎわいを創出する施設「立川市魅力発信拠点施設コトリンク」において、同施設の地下1階から2階に整備された市内最大の自転車等駐車場(自転車1,742台、原動機付自転車78台)の管理運営を2022年6月より開始しました。今後も様々な自治体や地域社会の皆様とともに、地域振興に貢献してまいります。



▲北東側から見た施設外観

NCD プロスが集金業務を開始

NCD プロスは、パーキングシステム事業の構造改革の一環である周辺業務の更なる内製化を推進すべく、新たに東京都公安委員会より警備業の認定を受け、2022年4月より新規事業となる集金業務を開始しました。今後、NCD プロスへの集金業務の集約に向け、更なる体制強化に努めてまいります。

NCD エストが西九州新幹線新大村駅に駐輪場を開設

2022年9月23日に開業した西九州新幹線、その路線、長崎県の玄関口である新大村駅にNCD エストが自転車駐輪場(新大村駅西口駅前駐輪場、156台)を開設しました。景観と海が近く風が強い土地の特色を考慮し、デザイン性と強度を兼ね備えたサイクルルーフ(屋根)を、また、平置きでも隣の自転車同士が絡まないよう、傾斜型のサイクルラックを提案し、評価・採用いただきました。今後もNCD エストとのシナジーを更に高め、九州エリアにおける事業の拡大を図ってまいります。



▲新大村駅西口駅前広場の様子

当社グループでは、ディスクロージャーポリシーとして適時・適切かつ公平な情報開示を行うこと、また、株主・投資家の皆様との建設的な対話を通じて中長期的な企業価値の向上を図ることを基本方針に掲げ、様々なIR活動を推進しています。今回はそれらの取り組みについて紹介させていただきます。

会社紹介動画を制作

当社グループおよび事業について、個人投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様によりご理解いただけるよう、会社紹介動画を制作しました。会社紹介動画、IT関連事業紹介動画、パーキングシステム事業紹介動画の3本を当社ホームページにて公開していますので、ぜひご覧ください。

詳細は「会社・事業紹介動画」ページをご確認ください。
<https://www.ncd.co.jp/company/video/>



▲社内での撮影の様子

株主・投資家の皆様との積極的な対話

当社グループでは、株主様の多様なニーズにお応えするため、様々なIR活動を展開しています。機関投資家・証券アナリストの皆様とは、決算説明会(年2回)に加えて、個別面談(1on1ミーティング)を通じた活発な意見交換を行っています。個人投資家の皆様とは、会社説明会(年2回)や株主通信の発行(年2回)、当社ホームページ上でのニュースリリースや株主アンケートの実施など、継続的な情報発信と対話の機会の充実による、双方向のコミュニケーションを図っています。また、今年度は新たに、証券会社主催のIRセミナーへの参加を予定するなど、より広く、より多くの個人投資家の皆様に当社グループのことを知っていただくための取り組みについても、積極的に展開しています。

個人投資家向けオンライン企業IRセミナー
開催のご案内(主催:auカブコム証券)

日時 2022年12月12日(月) 20:00-21:00

説明者 代表取締役社長 下條 治

参加方法等の詳細はauカブコム証券のホームページよりご確認ください。

[https://kabu.com/investment/
movie/irseminar/default.html](https://kabu.com/investment/movie/irseminar/default.html)



情報発信の強化

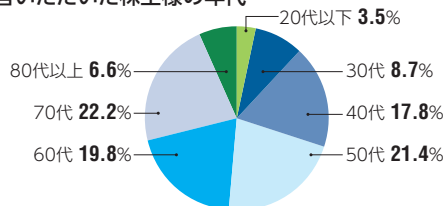
当社ホームページでは、決算情報・適時開示情報のタイムリーな掲載に加え、会社説明会資料や企業調査レポートなどの各種IR資料等を掲載するほか、NCDグループに関するニュースリリースの発信強化に努めています。また、これらの更新情報に関するメール配信サービスを行っておりますので、ぜひご登録ください。(メール配信サービスの詳細については裏表紙をご参照ください)

株主アンケート集計結果のご報告 Shareholder questionnaire

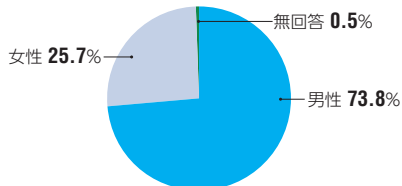
2022年6月に行いました「株主様アンケート」におきまして、多くの株主様よりご回答をお寄せいただきました。アンケートのご協力につきまして御礼を申し上げるとともに、主な集計結果をご報告させていただきます。頂戴した株主様の貴重なご意見・ご要望は、今後の経営やIR活動の参考にさせていただきます。

調査対象 …… 全株主3,496名
調査方法 …… 決議通知に同封（2022年6月28日発送）
調査期間 …… 2022年6月28日～7月28日
ご回答数 …… 915名

●ご回答いただいた株主様の年代

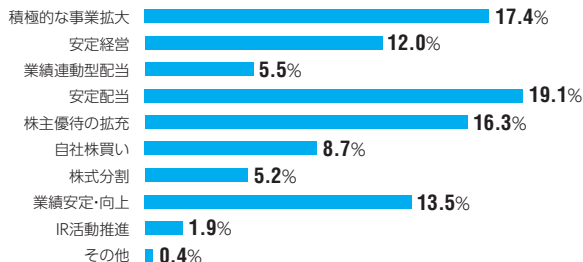


●ご回答いただいた株主様の性別

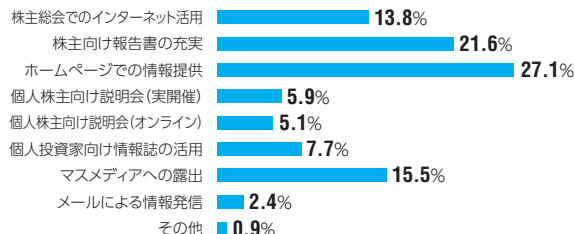


アンケート集計結果（一部）

Q 当社に期待すること(3つまで)



Q 当社の今後のIR活動で充実を希望すること(複数可)



株主様からのご意見・ご要望のご紹介

株価／IRについて

事業内容はとても面白いと思うので、もっと一般に認知されるようになってほしい。
(30代男性)

アンケートで広く意見を募集する姿勢に好感が持てます。
(30代男性)

事業内容について

地球温暖化対策として、少しでも自転車利用者が増えるよう、各地にきちんと管理運営された駐輪場が御社の力で増加してほしいと心から願っています。
(70代女性)

サステナビリティについて

女性活躍の取り組みはすばらしいです。年齢や性別にとらわれることなく働ける会社であってほしいです。
(40代男性)

パーパス

人の鼓動、もっと社会へ。

私たち一人ひとりが未来に胸ときめかせ、誰もが活き活きと輝ける社会をつくる。

経営理念

ユニークな技術とサービスにより、明るい未来に貢献する。

ビジョン ～NCDが目指す姿～

私たちNCDは1967年の設立以来、常にお客様の満足を第一に考え、最適なシステムときめ細かなサービスの提供に努めてきました。お客様のビジネス戦略を深く理解することに始まり、問題の発見から将来構想まで、コンサルティング、システム構築、運用管理を網羅する一貫したサービスを提供できる体制を整えています。

更に、私たちが長年培ってきたIT技術は、様々な分野での活用へと発展しています。その一例として、私たちは駐輪場の新たな事業モデルを生み出し、今や、街の環境問題を解決するソリューションとして、社会に定着しつつあります。

私たちは引き続き、様々な分野でのIT活用の可能性を探究することにより、お客様、更には社会から常に必要なとされる、価値ある企業であり続けることを目指します。

NCDグループのご紹介

～今回はNCDプロス株式会社を紹介いたします～

NCDプロス株式会社は、パーキングシステム事業で培ったノウハウを活かし、より品質の高い駐輪場管理を実現することを目的に、2018年3月に設立されました。駐輪場の巡回管理や定期メンテナンスをはじめ、各種許可の取得により、駐輪機器設置工事や集金業務を開始するなど、これまで外部に委託していた業務の内製化を推進することで、NCDグループの収益向上にも大きく貢献しています。今後も、更なる連携強化によってシナジーの創出を図ってまいります。

詳細はこちらからご確認ください。

▶NCDプロスについて
<https://www.ncdpros.co.jp/>



▶NCDグループについて
<https://www.ncd.co.jp/ir/3min/>



会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 Nippon Computer Dynamics Co., Ltd.
設立年月日	1967（昭和42）年3月16日
資本金	438,750,000円
主な事業所	本社（東京都品川区） お台場オフィス（東京都江東区） 江東サービスセンター（東京都江東区） 福岡オフィス（福岡市博多区） 長崎オフィス（長崎県長崎市）
従業員の状況	NCDグループ 1,044名 NCD 674名 (注) 上記人数には、契約社員、パートタイマー、嘱託契約の従業員および派遣社員を含みません。

連結子会社 (2022年9月30日現在)

社名	設立	所在地	資本金	当社出資比率
株式会社ゼクス	1969年 3月	大阪市中央区	96百万円	100%
NCDテクノロジー株式会社	2000年11月	東京都品川区	40百万円	100%
天津恩馳徳徳信息系统開発有限公司 (NCD China)	2005年 4月	中国天津市	600千米ドル	100%
NCDプロス株式会社	2018年 3月	東京都目黒区	30百万円	67%
NCDエスト株式会社	1978年 4月	福岡市博多区	10百万円	100%

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	下條 治	社外取締役(監査等委員)	中山 かつお
取締役専務執行役員	高木 洋	社外取締役(監査等委員)	奥野 滋
取締役専務執行役員	加藤 裕介	社外取締役(監査等委員)	圓角 健一
社外取締役	宮田 晴雄	執行役員	田辺 信幸
社外取締役	安岡 正晃	執行役員	中根 純一
取締役(常勤監査等委員)	小林 勇記	執行役員	苅辺 勉
		執行役員	安藤 登志夫

株式の状況 (2022年9月30日現在)

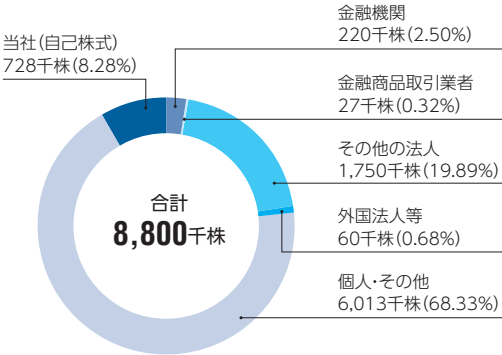
発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式の総数	8,071,068株 (自己株式728,932株を除く)
単元株式数	100株
株主数	3,436名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
光通信株式会社	604	7.48
株式会社北斗	430	5.32
NCD社員持株会	404	5.01
株式会社UH Partners 2	306	3.79
小黒 節子	280	3.46
下條 治	258	3.19
寺内 吉孝	180	2.23
山田 正勝	172	2.13
株式会社エスアイエル	157	1.95
下條 芳	155	1.92

(注) 1. 当社は自己株式（728,932株）を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード4783)
公告の方法	電子公告により行います。
公告掲載URL	https://www.ncd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。)

メール配信サービスのご案内

個人投資家の皆様向けのメール配信サービスを行っています。最新のリリース情報やIR資料等の更新情報をメールでお知らせしますので、ぜひご登録ください。

メール配信サービスはこちら
<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=4783>



三菱UFJ信託銀行株式会社が提供するサービスを利用しています。ウェブサイトに記載のご利用条件をご確認の上、ご利用をお願いします。



株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、以下の株主優待制度を実施しております。

対象となる株主様

毎年9月30日現在、当社株式1,000株以上保有いただいている株主様

贈呈時期

本冊子に同封して贈呈

株主優待制度の内容（贈呈品：クオカード）

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
1,000株以上 3,000株未満	2,000円分	3,000円分
3,000株以上 5,000株未満	3,000円分	5,000円分
5,000株以上	5,000円分	7,000円分

継続保有期間条件について

- ・年1回毎年9月末を基準日とし、同日付の当社株主名簿の記録により確認できる株主様を対象といたします。
- ・継続保有判定は、**半期ごと（毎年3月末および9月末）の当社株主名簿に、「同一の株主番号」で連続して7回以上記録された株主様を**、継続保有「3年以上」の対象といたします。
- ・「同一の株主番号」記録の連続性が中断された場合には、継続要件を満たさないものとして取り扱います。例えば、保有されていた当社株式の全部を一旦売却した後に、3月または9月の権利付き最終確定日までに株式を買い戻した場合などが該当します。

当社のウェブサイトでも財務データ、企業情報などを開示しております。ぜひご覧ください。

<https://www.ncd.co.jp/>

NCD IR

検索

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田四丁目32番1号
TEL 03-5437-1021
<https://www.ncd.co.jp/>



本冊子に関するお問合せ先 総務部 TEL 03-5437-1021

